

健やかな体の育成プラン

重点取組分野	具体的取組
健康教育	①家庭と連携し規則正しい生活を送ろうとする姿勢を培うとともに、食育や歯科保健教育、安全教育を実施する。②学校保健委員会で体力向上に取り組み、運動集会等を通して体力の向上に目を向けたり運動習慣を身につけたりすることができるようにする。
担当	体育部・児童指導委員会保健安全担当

健やかな体に関わる本校の状況

令和4年度

体力・運動能力

令和5年度

体力・運動能力

生活実態

○新体力テストでは、現6年生を除き、児童の体力・運動能力が市平均を上回っている。

○横浜市学力・学習状況調査の生活意識調査では、すすんで運動・スポーツをする時間をもちたいと考えている児童の割合が、市平均を上回っている学年が多い。

○横浜市学力・学習状況調査の学習意識調査では、体育の学習が大切だと考えている児童が、どの学年も市平均を下回っている。

(2)これまでの学校の取組状況

○体育科では、子どもが体を動かすことの楽しさや心地よさを実感することができるような授業づくりを実践してきた。

○運動会や運動集会、学校保健委員会などを、児童会の子どもが中心になって運営し、代表委員会の議題にあげるなどして、学校全体の意見を反映できるようにしてきた。

今年度の目標

児童委員会が運営する運動集会や学校保健委員会を中心に、児童が運動をする楽しさを味わい、外遊びや仲間づくりの促進を図る。

目標を実現するための具体的行動プラン

上半期	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の思いを言葉で表現することができるようにするために、日々の授業で、学習カードやタブレット端末を活用したり、友達同士で考えを交流したりする時間を設定する。 ○問題解決のプロセスを大切に学習を進めることができるように、単元の見直し方や振り返り方を、職員間で共有する。 ○運動をすることに親しむことができるように、児童委員会が中心になって運動集会や学校保健委員会を開催する。 ○日常的な健やかな体に関わる取組を、学校HP等で家庭や地域に発信する。
下半期	<ul style="list-style-type: none"> ○運動をすることの楽しさや友達と協力することの大切さを実感し、異学年との交流を深めることができるような運動会を実践する。 ○活動の進め方を調整しながら行動することができるように、運動会係活動を立ち上げ、児童が中心になって運動会運営を行うことができるようにする。 ○運動をすることに親しむことができるように、児童委員会が中心になって運動集会や学校保健委員会を開催する。 ○日常的な健やかな体に関わる取組を、学校HP等で家庭や地域に発信する。